

ボクも私も読書好き

日置市伊集院の小規模校、土橋小学校は2010年度以降、図書室の年間貸出冊数が計1万冊を超える。児童数が徐々に減少して環境は厳しくなるが、読書の質にもこだわりながら5年連続の万台を目指している。

伊集院・土橋小

児童らは毎朝の読書の時間を使って本を読み、市中央図書館の巡回図書でも借りる。昨年は読書活動の優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けた。

10年度に60人いた児童は本年度48人。1万冊に向けて1人当たりの負担が大き

貸し出し 5年連続1万冊目標

くなる分、図書委員が全員のしおりを作ったり、一定冊数で全国のゆるキャラシールをプレゼントするなど読書を推進する。

一方で冊数にこだわると高学年が薄い本ばかり読むなど課題も。学年別におすすめ本のリストを作るなど対策を進める。松山隆志校長は「読書の幅を広げて結果として1万冊に届けたい」と温かく見守る。

それでも6年の図書委員長、君は「自分たちは小学校最後の年。読書の中身もしっかりしながら、みんなが1万冊を達成したい」と意気込む。

(江田裕樹)



図書室に集まる児童ら
—日置市伊集院の土橋小学校